

グラフで見る観測条件

菅原 賢 < sugawara@star.email.ne.jp >

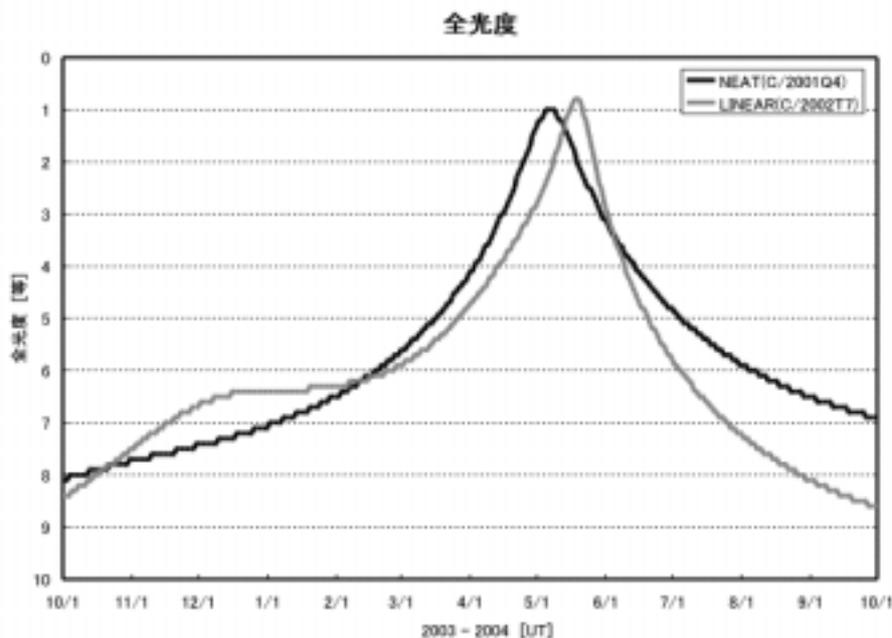


Fig.3-3-1 全光度 (次式で計算した全光度の予報値)

単純なモデルによるものなので、あくまで目安にとどめてほしい。

C/2001Q4(NEAT) : $m_1 = 3.5 + 5\log + 4.0\log r$ (MPC 46619)

C/2002T7(LINEAR) : $m_1 = 4.0 + 5\log + 4.0\log r$ (MPC 48096)

m_1 : 全光度、 : 地心距離[au]、 r : 日心距離[au]

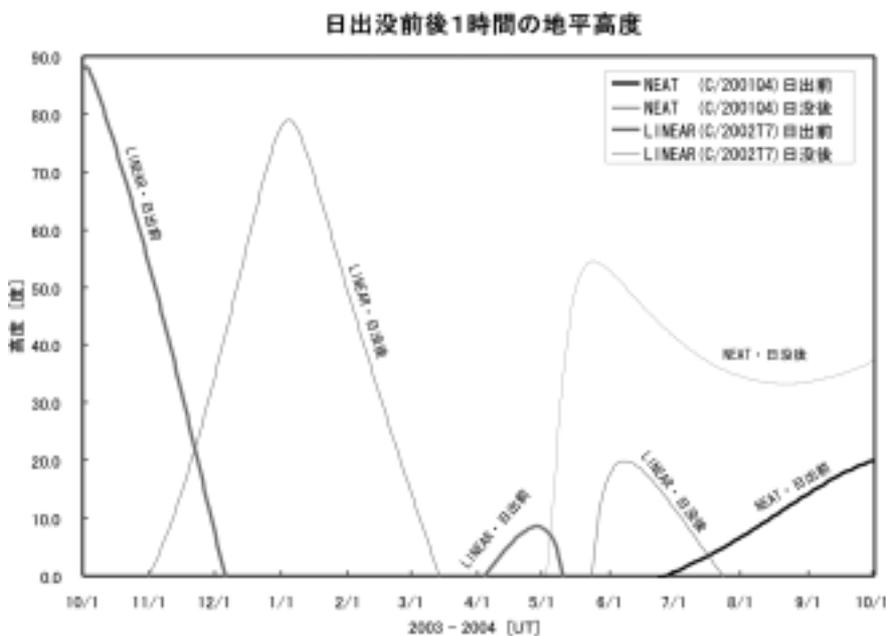


Fig. 3-3-2 日出/没1時間前/後の彗星の地平高度 (東京における値)

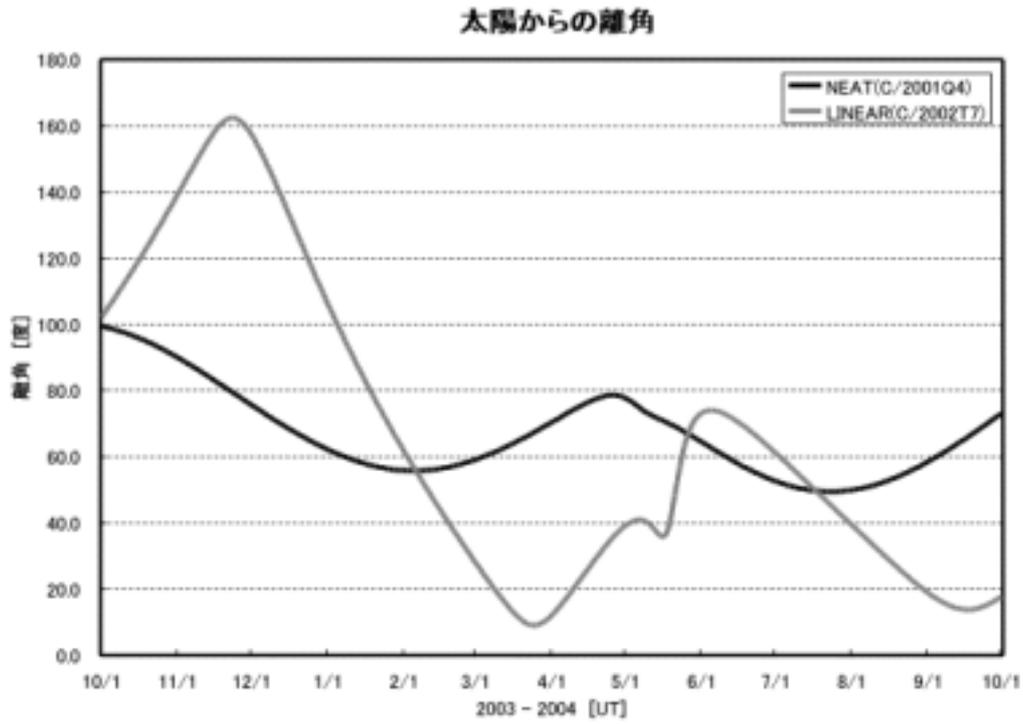


Fig. 3-3-3 太陽離角（太陽 - 地球 - 彗星のなす角）

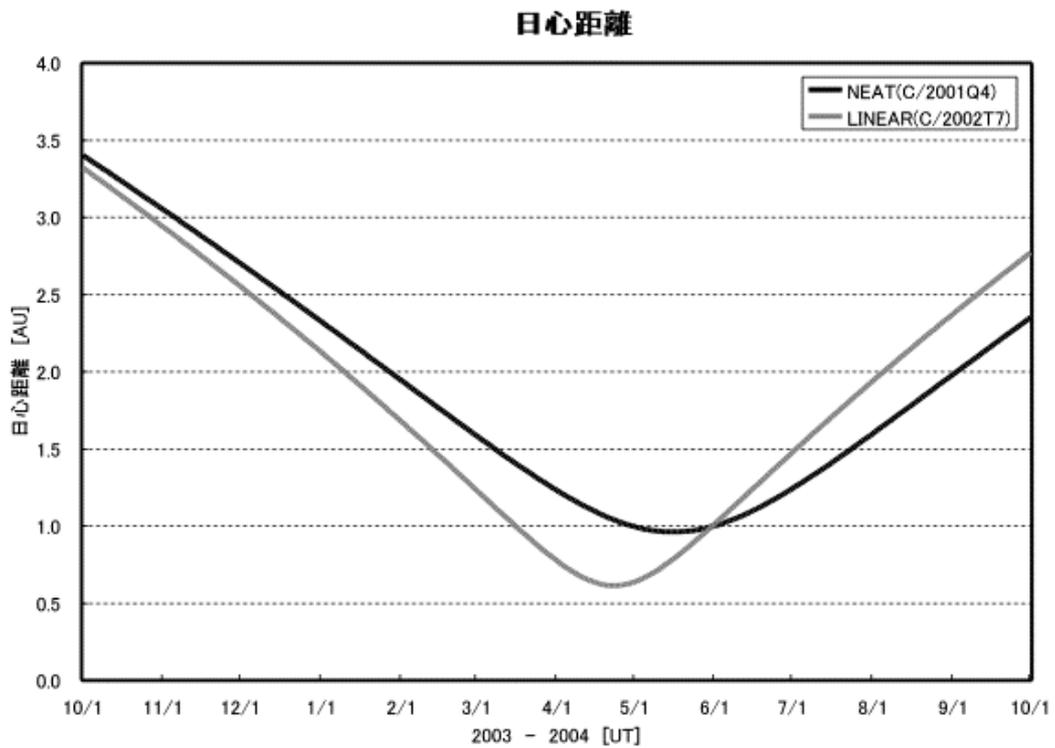


Fig. 3-3-4 日心距離（太陽と彗星の距離。単位は天文単位）

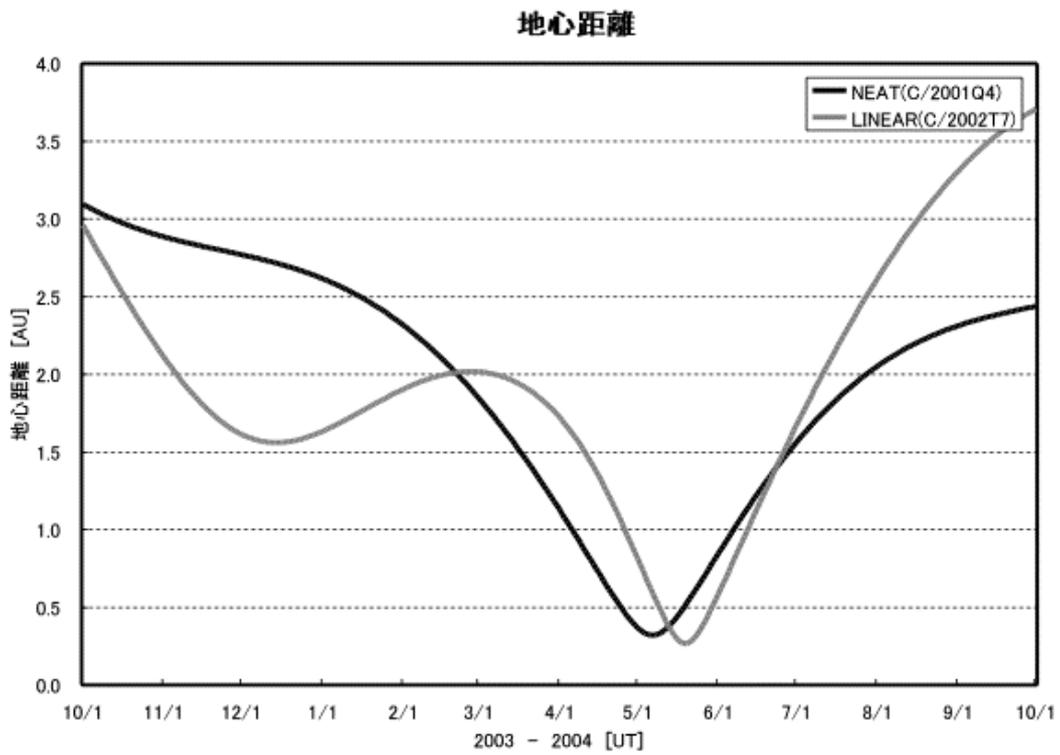


Fig. 3-3-5 地心距離（地球と彗星の距離。単位は天文単位）

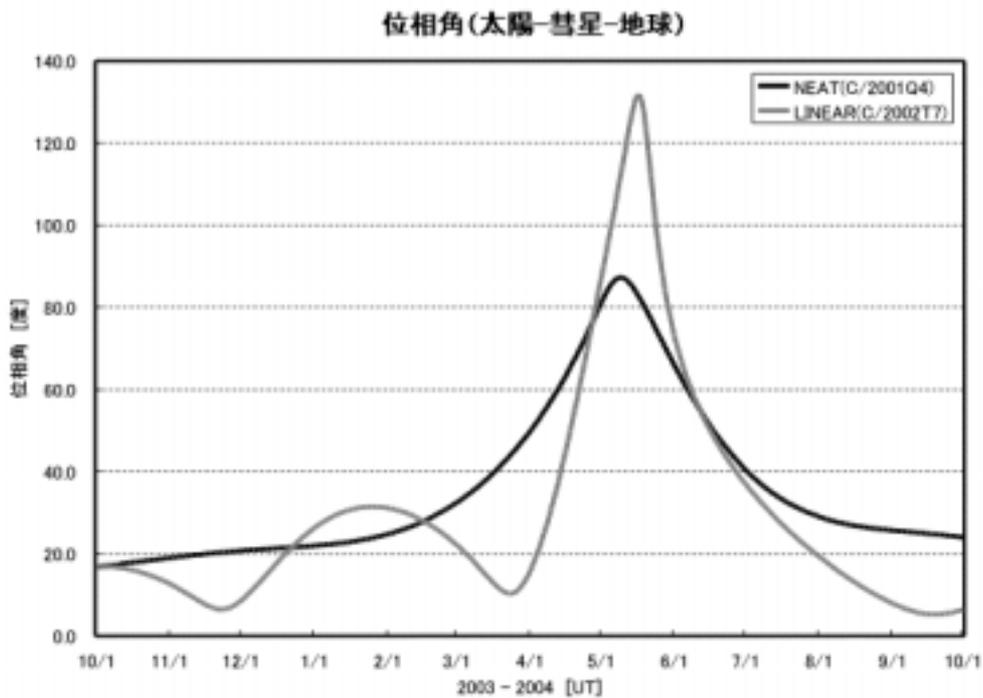


Fig. 3-3-6 位相角（太陽 - 彗星 - 地球のなす角）

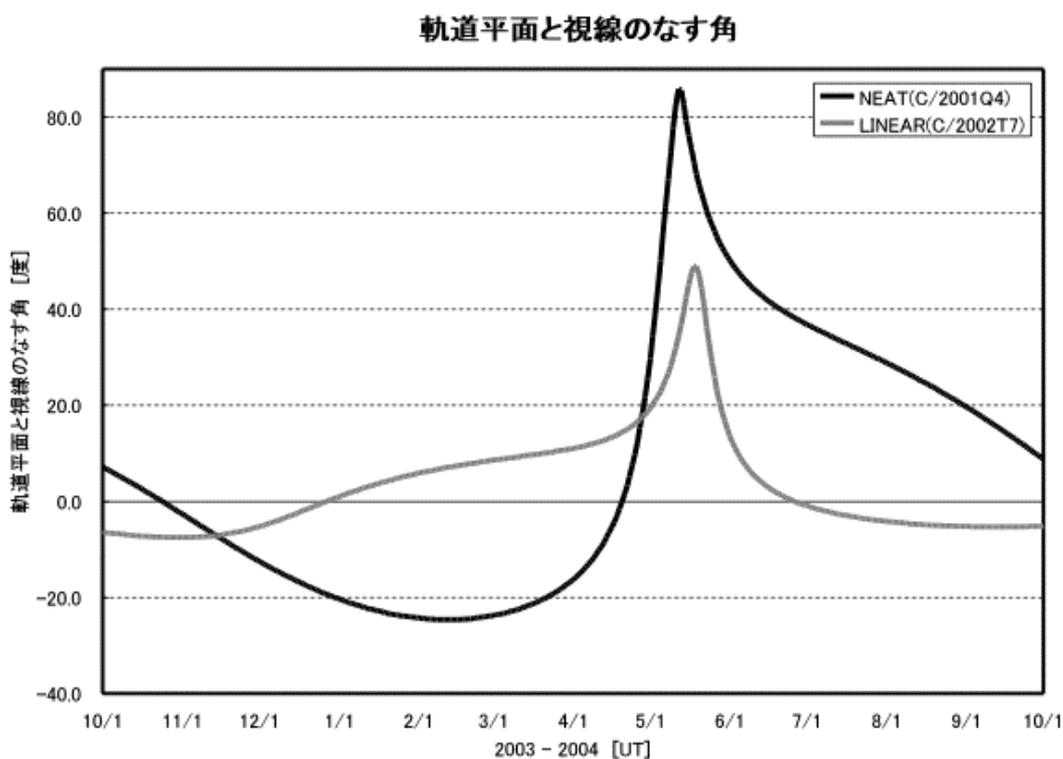


Fig. 3-3-7 彗星軌道平面と視線のなす角
 (軌道平面を真横からながめる場合を0度とする)

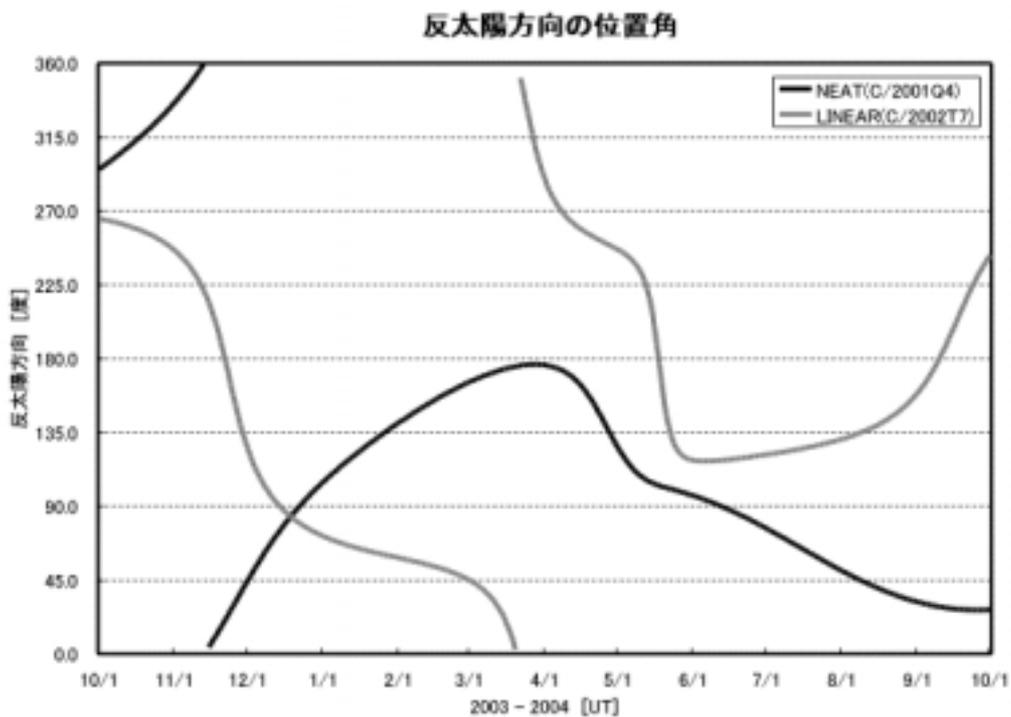


Fig. 3-3-8 反太陽方向の位置角 (天球上で真北から東回りに測った角度)

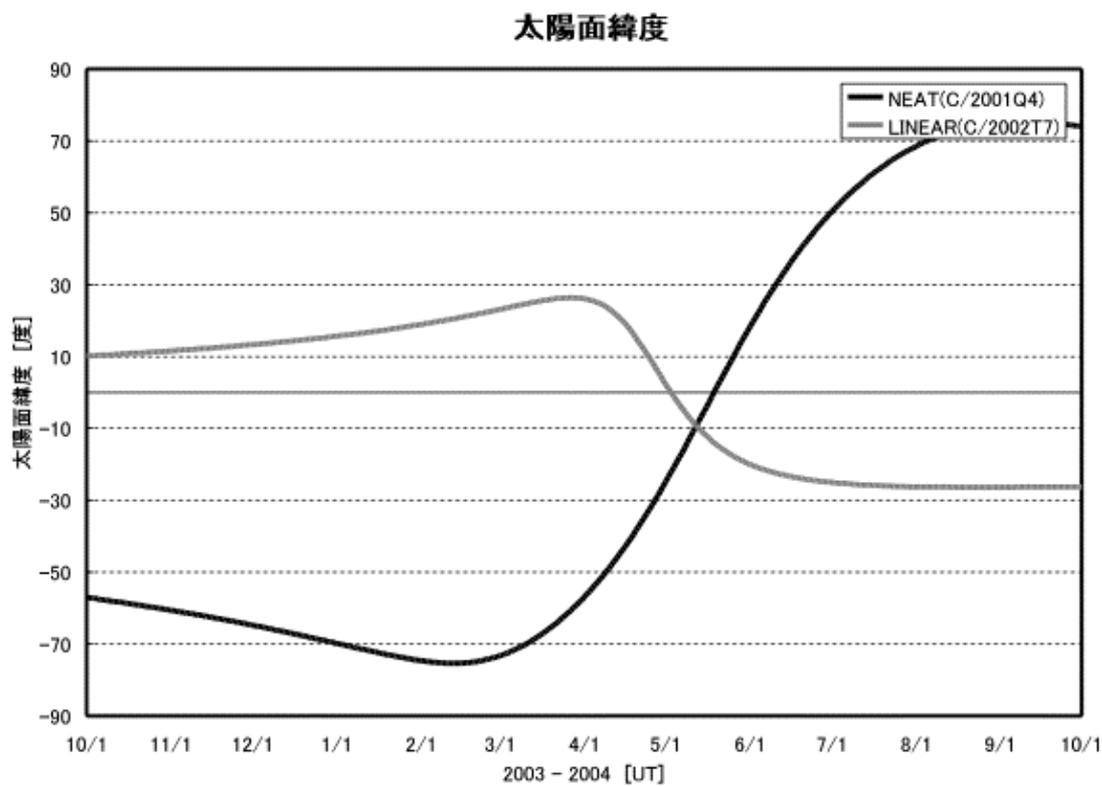


Fig. 3-3-9 太陽から見た太陽面中央緯度